

キャラクター名
玉野アリステリア

プレイヤー名

シンドローム	ブラム=ストーカー キュマイラ		ワークス	UGN支部長A	カヴァー	中学生
	オプション		年齢	14	性別	男
覚醒	素体	衝動	嫌悪	初期侵食率	41	%
出自	天涯孤独	経験	離反	邂逅	保護者	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	31
肉体	4	1	0			5	行動値	5
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	5
精神	1	0	0			1	戦闘移動	10
社会	1	0	0			1	全力移動	20

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃			RC			交渉		
回避	1		知覚			意志			調達	1	
運転:	2		芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
シャブラング		0		13		装甲値6 行動値-1 全力移動200
配下収集		0				①② コスト1 HP15の従者を同エンゲージに召喚する
瞬間号令[100↑]		0				①②③ コスト10 HP15の従者を同エンゲージに4体召喚
鋼の陣		0	3D			④⑤ コスト5 カバーリングを行う

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
エンブレム: ドロップアウト	
エンブレム: 神の落とし子	
情報収集チーム	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
ドロイス: 遺産継承者P		N		
玉野椿	P 信頼	N 不安		
神郷 花音	P 好意	N 不安		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
赤色の従者	1	5	メジャー		自身	自動		
効果:	同エンゲージに従者作成する HP[Lv*5+10]							
声無き子ども	3		常時	至近	自身	自動		
効果:	1シーンに作り出す従者を+Lvする							
愚者の軍団	2	5	メジャー	至近	自身	自動	100↑	
効果:	『赤色の従者』で作りに出す従者の数を+Lvする							
軍神の守り	1	2	オート	至近	自身	自動		
効果:	ダメージロール直前にカバーリングを行う							
イージスの盾	3	3	オート	至近	自身	自動		
効果:	ガードを行うときガード値を+[Lv]D							
棘の獣身	3	4	オート	至近	自身	自動	嫌悪120↑	
効果:	ガードを行うとき[Lv+2]DのHPダメージを与える							
ドロイス: 戦術	5	6	セットアップ		シーン(選択)	自動		
効果:	ラウンド中に対象が行うメジャーのダイスを+Lv個							
至上の毛並み	★				自身	自動		
効果:	至上の髪							
裸の王様	3					常時		
効果:	[10*Lv]の従者を召喚(エキストラ) 仕事の手伝いや身の回りの世話を任せる							
日常の代行者	★					常時		
効果:	UGN支部長としての仕事が入ったときに学校へ行かせる							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

神代グループ内のある組織がとある研究に手を出した。
計画"始まりの母(イヴ)" かのアダムカドモン計画と対を成すその計画は『ただ一人の神人を生み出すのではなく多くの聖人を生み出す』ことを目的としている。
構想としては特殊な『技能』『筋力』『遺産』などをすべて備える人間を生み出しその筋力すべてを継承させることを目的としている。
そしてその研究の末一人の子供が誕生した。
その子供はとある王族の血を引き屈強な血の従者を率い
その子供は聡明でありあらゆる戦況に対応し
その子供は誰よりも清き心を持つゆえに心を持つ遺産を手にした
しかしその子供は誰よりも自信を持ってなかった、莫大な才能はあったがしかしそれは才能でしかなく、その才能を伸ばすために周りの研究員たちは彼を常に叱りつけ厳しい罰を与え続けた。
親しいものは『遺産』の『シャブラング』しか居らず、彼も言葉に理解は示すものの自らが口にするには出来なかった。
そのような環境で育った子供は気がつくとも誰よりも自分に自信の持てない臆病な子供に育っていた。

ある時、施設内に警報が鳴り響く。
周りの研究員たちが大きな声を上げているが子供は許可無しに部屋から出ることが出来ないためずっと布団をかぶって震えていた。
しばらくして警報も声も止み騒ぎが収まったように感じた時、部屋の扉が開いた。そこには知らない女性が立っていた。
返り血を浴びている女性を目にした子供はあまりの恐怖に気絶した。

そして目が覚めたときにはUGN本部の医務室だった。
落ち着いてから話を聞くとUGNが非人道的な研究施設を襲撃しそこでその実験を受けていた自分を保護してくれたようだ。
自らが自由になったことを理解した子供の胸中を占めていた者は歓喜ではなく不安だった。
そして蒼白となった子供に対してその女性 玉野椿が自分の所にくるか訪ねた。
こうして子供と女性は家族になった。